

論文審査の要旨(甲)

申請者領域・分野 氏名	総合医療・健康科学領域社会医療医学教育研究分野 氏名小野真実
指導教授氏名	中路重之
論文審査担当者	主 査 横山良仁 副 査 今泉忠淳 副 査 高橋識志
(論文題目) 女性における食物繊維摂取量と動脈硬化リスクの関係	
(論文審査の要旨) 閉経前女性の生活習慣病罹病前の段階において、食事と動脈硬化リスクの関係を調査した研究は少ない。地域の一般女性を対象に、食物繊維摂取量と動脈硬化関連指標との関係を疫学的に調査した。 食事と動脈硬化リスクの関係を、閉経前後と肥満・非肥満で分けて検討した。非肥満女性では食物繊維の摂取はカリウムを介した降圧作用、LDL-Cho の改善効果を介して動脈硬化予防に有効である可能性を示した。肥満になる前に食物繊維を十分に摂取する食習慣の確立が重要である、という新知見を発表した。 審査にあたり、食物繊維の理想的な摂取量、水溶性食物繊維と不溶性食物繊維の理想的な比率、食物繊維の効果と腸内フローラは関係があるか、閉経前の肥満女性の運動習慣が高いのはなぜかなどを査問したが、適切に回答、考察をしていた。統計学的手法にも適切な回答を得た。 体脂肪率や体脂肪量で検討しても同じような傾向が出たかどうか、食事の取る順番などに差はなかったか、閉経前のコホートでエストロゲン量と動脈硬化関連指標と関係するのかどうか、肥満になると食物繊維のカリウムを介した降圧作用、LDL-Cho 改善を介した動脈硬化予防がなくなるのはなぜかという課題が残ったが、今後の研究に期待出来る回答であった。食物繊維摂取と動脈硬化リスクの関係が今回の中心の研究であり、食物繊維摂取量を 0-3g、3-6g、6g 以上と群分けして動脈硬化リスクとの関連を見ると理解しやすいのではないか、その結果がわかればどのくらい摂取すれば良いかの指標がわかりやすくなるのではという示唆にも同意を示した。膨大なデータを真摯にまとめ上げ、閉経前からの動脈硬化予防が大切であるという健康増進に直結する成果を得ているため学位授与に値する。	
公表雑誌等名	体力・栄養・免疫学雑誌 掲載予定